

発刊を祝って

市議会議長

渋谷新太郎



松の緑も深く、清き江戸川の流れとともに古き歴史を誇る我が松戸市が昭和五十二年で市制三十五周年を迎えることができまことはまことにご同慶にたえません。

かえりみますと、昭和十八年市制施行以来文化都市を目ざして、人口四万有余をもつて出発したのでありますが、今日人口三十七万人を擁する県下有数の都市として目ざましい発展を遂げ、中堅都市から大都市へと着実な歩みを続けております。

このときにあたり松戸市民に親しまれ愛読されております「広報まつど」が市制三十五周年を記念して縮刷版を発行されますことは過去の長い歴史と貴重な記録を保存するとともに、今日まで培ってきた実績を踏まえつつ将来への出発点とするためにまことに意義深いものであらうかと存じます。

昭和二十五年に第一号が創刊されて以来、名称、割付け等は変わってきておりますが、市勢に関する状況を詳細に報道できるものは「広報まつど」以外になく、特に本市は近年転入者が多く新市民になった人などで、市の催し物、各種お知らせ、施設案内、財政状況等を知らうと重要視されておられる方が大変多いと存じます。

今後単にお知らせ的なものばかりでなく、時代の先端に立った広報作りをするとともに、ユニークで内容の充実した新鮮な紙面作りをされるよう念願し、ごあいさつといたします。